



祝

2023 三好市20歳を祝う会

暖かい日差しが降り注ぐ1月3日に池田総合体育館で行われた三好市20歳を祝う会。2002年4月2日から2003年4月1日に生まれた202人が20歳の門出を祝いました。



20年前はこんな年でした

ユーロ流通開始、タマちゃん出現、FIFAワールドカップ日韓大会、北朝鮮拉致被害者5人が帰国、UFJ銀行誕生、小柴昌俊さんと田中耕一さんがノーベル賞受賞

式典該当者数
(卒業中学校別)

三野	37名	井川	34名
池田	75名	山城	23名
西祖谷	7名	東祖谷	7名
その他	19名		
計202名			

映されました。映像では、これまで支えてくれた家族や周りの方への感謝の気持ちを伝えるメッセージや、お世話になった方からのお祝いの言葉などが上映されました。

会場では、マスクとともに真新しいスーツや華やかな着物に身を包んだ参加者が、級友との再会を喜び合ったり、一緒に記念撮影をしたりして、若さをいっばいに表現して、輝かしい人生の節目を祝いました。

今日を迎える感謝と明日への希望

式のアトラクションとして、運営委員が作成したビデオ映像が上

「みよしっこ」らしく元気に乗り越えたいと思います」と誓いのことばを述べました。

来賓祝辞、祝電披露の後、代表して近藤悠馬さん(井川)が、関係者や家族に感謝の言葉を伝えるとともに、「成人年齢が引き下げられ、既に私たちは社会に貢献する一員として期待されています。三好市で育つたことを誇りに生き、様々な壁にぶつかっても、

三好市20歳を祝う会は、対象者で組織された企画運営委員20名が式の企画をはじめ、受付や司会などの運営面も行いました。

司会の西村里穂さん(山城)と東浦花梨さん(山城)が式の進行を行い、運営委員の小林楓奈さん(西祖谷)による演奏、坪根侑生さん(池田)による国歌独唱の後、高井市長から「新しい時代を切り開いていくのは若い皆様です。飽くなき探求心と行動力で、夢に向かい続けてください」と激励の言葉が送られました。

ハタチの門出
新たな一歩をここから

